



曾於市立財部南小学校

所在地：曾於市財部町南俣5322番地 ●学級数：5学級
電話番号：0986-75-1110 ●児童数：21人



特色ある活動

- ・少人数を生かした教育活動の充実(縦割り班活動)
- ・70年以上にわたり愛鳥精神と思いやりの心を育む伝統の「愛鳥校」
- ・保護者や地域の方々の協力を得ながらのさつまいも栽培

事業実施概要

10月4日(月)	9:40~11:25	児童ワークショップ(全児童)	21人
	15:15~16:45	教職員セミナー	12人
11月10日(水)	16:15~17:45	保護者・地域ワークショップ	8人

事業取組のきっかけ

1 これまでの学校の取組

(1) 本校の人権同和教育の目標

豊かな心情をもち、思いやりの心と助け合う心を培うとともに、基本的人権を尊重し差別を許さない子どもの育成に努める。

(2) 本校の児童の実態

- ・明るく純朴である。
- ・少人数であるため、縦のつながりが強く高学年児が低学年児の面倒を見ることが自然と身に付いている。
- ・低学年の頃から上級生の後ろ姿をよく見て育ててきているため、学年が上がるにつれ、委員会活動や清掃活動などでは責任を自覚し、しっかりと取り組むことができる

・地域の方たちとも登下校中のあいさつなどを通じて日常的なつながりができている。

(3) 人権同和教育の取組

- ・「あたたかいやさしい話し方・聞き方」の励行
- ・人権週間(6月・12月)の取組
- ・人権教室の実施
- ・人権標語の作成・掲示
- ・縦割り班活動による人間関係作り
- ・「ありがとうの木」づくり

2 事業応募への思い

年間を通した縦割り班活動で、お互いを思いやる心が育ってきている。一方で、自分のよさを認めたり、自分に自信をもったりすることができないなど、自己肯定感が低い児童も見られる。そこで男女共同参画の視点から児童が自己肯定感を高め、互いを尊重し、更によりよい人間関係を築いてほしいという願いやお互いのよさをよりよく知り、生かし協力していくために校内の様々な活動において保護者や地域人材の活用を推進していきたいという思いから本事業に応募した。

実際に取り組んで

1 児童を対象としたワークショップ ~子どもたちの感想~

わたしたちが「あんたちがうよー。」などの上の言葉を言っていたことに気づきました。なのできびしく言わないで、「わたしメッセージ」を言えばいいのかとたくさん学べました。なのでこれからずっと気をつけます。(2年)

わたしは、はじめて男女きょうどうさんかくを知りました。わたしはめくさんの言ったとおりにえをかいたけれど、みんなと見せあたらぜんぜんがちがいました。わたしは「みんなめくさんの言ったとおりにかいただけなのに、ひとそれぞれちがうんだなあ。」と思いました。(2年)

一人ひとりに、かんじ方、考え方、やり方があってそれは一人ひとりちがうことを知りました。わたしは相手がきずつくことなく、自分の気持ちを伝えられる話し方が「わたしメッセージ」ということをはじめて知りました。(3年)

最初はみんな同じ指じを出されていたからみんな同じ考えを持つと思っていたけど、ばくは、人に「ちがう」と言うときうらの気持ちや伝えられていなかった。それを教えてもらった。なのでこれからはうらの気持ちをしっかり伝えたい。(4年)

こせいは、人によってさまざまであっているところがちがうから、みんなちがってみんないいと思った。(4年)

心にのこったことの1つ目は「ちがいはまちがいでない。ちがいが大切。」ということが分かりました。これからはたくさん発表したいです。心にのこったことの2つ目は「一人一人おなじことを言われてもにんじがちがう」ということが分かりました。これからはいろいろないけんを知りたいです。(5年)

とても楽しく活動しながら学習できたのでよかった。私も、「男の子だからできる。」と言ってしまったことがあってこれからは気をつけていきたいと思いました。そして、友達や家族にも教え広めていきたいと思いました。とてもわかりやすかったです。わたしもめく先生みたいにだれもがすみやすい社会に少しでもできるように頑張りたいと思います。今日はありがとうございました。(5年)

男女共同参画について学び、ふだんはあまり積極的に発表できていないので積極的に発表したいです。(6年)

わたしは、「男女共同参画」というじゅ業をしているいろいろなことを知ることができました。1つめは、「ちがう=まちがいでない」ということを知りました。わたしは、他の人どちがう意見でも自分の意見を発表したいなと思いました。今日はおいそがしい申しているいろいろなことを教えてくださり本当にありがとうございました。(6年)



2 教職員を対象としたセミナー ～教職員の感想～

ワークショップの目的と意義を共有しました。

心根が優しく、規律を守る気持ちをもって生活を送っている財部南小の子どもたちですが、自己肯定感、あまり高くありません。どうやったら高められるかを日々考えています。今回お話しして頂いた「ちがいを認め合う」ことはその突破口になるのではと思っています。反面、同調圧力が過度や協調といった日本社会のよさを作り出している面があることを考えると、この「ちがいを認め合う」こと、「同調圧力」をどのように調和させていくのかを今後さらに考えていきたいと思っています。貴重な示唆を与えていただきました。ありがとうございます。

学力や成績にまだまだ重きをおく日本社会。大人になってから「生きる力」や「明るさ」を培うことはできないと考えます。色んな意見、思考があるから、よりよく生きることができると思うので、今日の学びを子どもたちにかえていきたいと思えます。子どもたち自身が違いを認め、建設的な意見を出せる環境を作っていきたいと思えます。Iメッセージ、どんどん意識してとり入れたいです。

南小は人数も少なく全員で活動することが多く、男女や学年に関わらず、関係づくりができています。ですので、子どもたちは、男女での差やちがいについてというよりは、「一人一人が大切にされる。」「ちがってもいい。」ということを感じることのできた時間だったのではないかと思います。Iメッセージは、以前から聞いたことがあり、私自身も意識して続けていますが、子どもたちへの声かけを行っても伝わりにくいことがありました。今回話して下さったことで、「後ろの気持ちも伝えてもらおう？」と声をかけやすくなります。全員で、貴重な体験・お話を聞いて本当によかったです。ありがとうございました。

本日はありがとうございました。子どものワークショップでは、ちがいをまちがいをわかりやすく教えていただきました。子どもたちも同じことを聞いているのにちがう受け取りがあるのだとはっきり認識できたと思います。また内なる言葉をIメッセージで伝えることが大切であること（まだ言いたくないなども含め）もわかったと思います。教職員セミナーでも他の先生方と振り返ることで、本校の子どもたちのよさを再認識したり、Iメッセージで教師が伝え、子どもたちもスキルを身につけ伝えられるようにさせていく大切さも分かりました。長時間ありがとうございました。

児童・教職員・地域の方々と共にワークショップに参加することができ、有意義な一日となりました。中でも自分を大切に、他者も大切にできるコミュニケーションのスキルについて学ぶことができ、大人自身も自分の日頃の言動について振り返る機会になったと思います。「言葉」の力はすごいですね。子ども達にとって、親から与えられた価値観以外で、触れることのできる場の一つが学校です。自己肯定感を高め、人に優しく接することができるような教育の大切さを改めて感じました。

「男だから、女だから…」という言葉は使わないようにしたい…とか、赤と青で男女区別はしないように…とあって心がけています。が、やはり「高学年だから…」と思ってしまうし、こうしてほしいとちょっとびりおしつけていたな…と思うことでした。職員セミナーの方で「自分に拍手を!!」とやっていただき、大人になってもほめられるっていいな！久しぶりほめられたかも…と感じました。ありがとうございました。

違いを認めるということは知っていても、できていない自分に気づかされたら、子どもたちの活動を見て子どもたちの持つ様々な視点に気付かされたら大変充実した研修でした。「Iメッセージ」、心がけていきたいと思っています。



3 保護者・地域の方々を対象としたワークショップ ～保護者・地域の方々の感想～

子どもたちが体験したワークショップと同じ内容で実施しました。

同じ指示を聞いても理解の仕方が異なること、大人でも分かっているようで分かっていないことだと思いました。

失敗やトラウマは小学生のときの経験から大人になった今ですと忘れられずに残っていることがあります。小学生のときに「違い≠間違い」ということを身に付けられていたら、人を傷つけることや自分を傷つけることを避けられるのではないかなと思います。「一人一人違う」ということは頭で分かっているけど普段忘れがちです。物事を考えるとき、人に何かを伝えるとき、まず違いがあることが当たり前であることを忘れずにいたいです。

天気のおもしろくない中、遠路おいでいただきましてありがとうございました。何回聞いても飽きない学びの広場、まだまだ曾於市での開講を待っています。今日は本当にありがとうございました。

成長の過程で違いが出る。それを攻撃するのではなく認め合うことが大切。男だから、女だからではなく、「あなたは、あなた。」それぞれ違うことが当たり前。それが男女共同参画です。多様性を大切に。

知り合いの方が、会議中に発言をし、自分しか意見せず、不安になっている方がいました。私は、その方は違いを恐れず自分自身も発言できるようにしたいと感じました。ありがとうございました。



参観した方々

全児童が一斉懸命取り組んでいました。みんな仲良く、先生方も一緒になり、話し合いに加わり、いい雰囲気でした。

子どもたちが皆熱心に取り組む姿がよかった。低学年にはよく理解できたのか？上学年が指示していたようで心強さを感じた。どんな違いがあるか理解ができたようだ。

6年生の男の子二人に聞きました。二人はいつも競争心もち、どっちも一番になりたいとのこと。今日の話聞いて心に響くことがたくさんあったとのこと。積極的な気持ちを相手を負かすのではなく、後ろの気持ちを考えて行動できるようにするのはないかと今回の事業の素晴らしさを感じた。めぐさんの相変わらずのさわやかな声、行動が子どもたちをどんどん引きつけていた。低学年がいるので話を区切って話すのも大切ではないでしょうか。久しぶりに参加させていただき、改めて自分自身を振り返り、孫たちに発する言葉にもうらの気持ちを考えてみました。ありがとうございました。曾於市の遠いところまで来ていただき、ありがとうございました。多くの学校で取り入れてほしいですね。

地域の方々等への事業取組の周知

- ・8月発行の「市報」に掲載
配布先…曾於市内全戸
- ・10月発行の「学校便り」に掲載
発行部数…約400部 配布先…財部南校区全戸数

子どもたちの男女共同参画学びの広場推進事業参加者の募集

子ども達や児童・保護者・地域が一体となって取り組むために、保護者や地域の大人の方を対象に子ども達と一緒のプログラムでワークショップを実施します。

日程 令和3年10月4日(月)
時間 午後1時～午後2時30分
場所 財部南小学校
募集期間 令和3年8月16日(月)～9月24日(金)
申込先 財部南小学校へ電話申し込み
募集人数 100人程度
参加費 2023年9月以降の経費によっては、人数を定する場合があります。
●財部南小学校
☎0986-75-1110

子どもたちの男女共同参画 学びの広場事業 周知！！

① 子どもたちが、地域の方々から、一人一人違うけれど、多様な存在であることに気付くこと。
② 子どもたちが、地域の方々から、一人一人違うけれど、多様な存在であることに気付くこと。
③ 子どもたちが、自分自身に、他者と共に生きる「Iメッセージ」を発信すること。
毎月4日(月)に、児童員男女共同参画センターから講師として講師、喜んで参加した方々、子どもたちが、自分自身に「Iメッセージ」を発信し、自分自身も多様な存在であることとワークショップを通して実践的に学びの場を築きました。

●保護者・地域の皆様への「学びの広場事業」が周知されています。ぜひご参加ください。
日程：11月10日(日) 15:15～17:45
場所：財部南小学校 体育館
参加ご希望の方は、学校(75-1110)へご連絡ください。

学校便り10月号

市報8月号

事業を終えて～今後の取組など～

本事業を通して、児童・教職員・保護者とともに、これまでの自分を振り返り、他者とのよりよい関わり方について考えるよい機会となった。特に人の考え方や感じ方にはそれぞれ違いがあり、「違い≠間違い」であることワークショップを通じて体験できたことやIメッセージについて深く考えられたことは今後子どもたちが、更にお互いを認め合い、よりよい関係を築いていく土台になったのではないかと思います。今回学ばせていただいたことを元に互いのよさをよく知り、生かし協力していくために校内の様々な活動において保護者や地域人材の活用を推進していきたい。



肝付町立波野小学校

所在地：肝属郡肝付町波見1066番地 ●学級数：5学級
電話番号：0994-65-6203 ●児童数：35人



特色ある活動

- ・少人数のよさを生かした学習指導・個に応じた指導の充実
- ・地域・保護者と一体となった学校教育活動「波野っ子祭り」
- ・ヒラメやウナギの放流など、自然や地域資源を生かした体験活動
- ・小中連携教育校として、波野中と9年間を通した教育活動の構築

事業実施概要

11月8日(月)	10:50~12:30	児童ワークショップ(5・6年)	14人
	15:30~16:45	教職員セミナー	7人
12月16日(木)	15:00~16:30	保護者・地域ワークショップ	15人

事業取組のきっかけ

1 これまでの学校の取組

(1) 本校の人権同和教育の目標

- ・互いのよさや可能性を認め合い、人権を尊重する児童の育成を図る。
- ・差別や偏見を見抜き、それらをなくそうとする実践力をもった児童の育成を図る。

(2) 本校の児童の実態

- ・上学年から下学年まで異学年で活動することも多く、仲良く協力しながら活動している。
- ・欠席が少なく、みんな元気に学校に通っている。
- ・素直で明るく、何事にも活発に取り組むことができる。
- ・自分の考えに自信が持てず、自分たちで主体的に問題を解決することが苦手な面が見られる。

(3) 人権同和教育の取組

- ・毎年12月に校内人権週間を設定し、地域の人権擁護委員を招いた人権教室の実施をしたり、人権問題を発達段階に応じて考えたりすることを行っている。
- ・普段から「ふわふわ言葉」と「チクチク言葉」を意識して活動しており、言葉に対する感覚を生活の中で児童が考えながら生活できている。
- ・いじめについて考える週間の実施(4月、9月、1月)。
- ・学校楽しいーとの実施と結果の共通理解及び活用。

2 事業応募への思い

本校は全校児童数35名の小規模校である。児童数が減少しており、来年度には完全複式学級になる可能性が高いが、学校・家庭・地域が一体となり、教育活動を進めている。地域の産業の体験、学習の成果を発表する波野っ子祭り等、児童は地域の中で健やかに成長している。その一方で多様な人間関係の中での生活体験が少なく、自分の考えに自信が持てず、自分たちで主体的に問題を解決することを苦手とする課題もある。そこで、人権意識を高めながら、ちがいを認め、一人ひとりに寄り添いながら、自分を大切に思える自尊感情を高めていきたい。そのために講話や研修を通して人権に対する理解を深め、日常生活に還元できる実践力を養いたいと考え、本事業に応募した。

実際に取り組んで

1 児童を対象としたワークショップ ～子どもたちの感想～

わたしは今日の学習で大切にしたいと思ったことは、年れいや性別などで「女の子だからこれできるよね」や「男の子だからこれできないよね」などと差別をしないことです。わたしは「男の子だから力持ち」という理由で物を持ってもらったりしたことがあるから「持ってくれる」と一回聞いてから手伝ってもらおうと思いました。わたしは何もしゃべらない、何もたずねないということをして、しゃべれない人や耳の聞こえない人に物を使ったりすることで自分の伝えたいことを伝えられるということを教えてもらってこうすれば、しょうがいのある人と通じ合えるから、忘れないようにしたいです。わたしは今日教えてもらったことをわすれないで、みんなが仲良くくらべて今よりもしあわせな世界になればいいと思いました。(5年生)

ぼくは絵をかくて同じ指示で絵をかくても人によってこんなにちがいがあることが分かりました。例えば、ぼくは三角を大きな丸につなぎましたが、三角どうしてつないだ人もいました。人はそれぞれ個性があると思いました。男だからこうしる、女だからこうしるという考えはやめて、それぞれの個性をかがやかさせた方がいいと思います。恵さんのような人がこれからふえていって、ぼくもそのような活動にとりこんでいこうと思います。(5年生)

わたしは、YOUメッセージとIメッセージという言葉が心に残りました。YOUメッセージは「それちがうよ。」「おかしいよ。」「ダメだよ。」などのチクチク言葉で、Iメッセージは「どうしたの。」「ここをもうちょっとこうしたらいいんじゃないの。」「ここは、こうするんだよ。」などのふわふわ言葉だということを知り、わたしは弟やお母さん、お父さんなどの人におこっている時、YOUメッセージをかけていて、きげんがいい時はIメッセージをかけているので、いつでもIメッセージを使うようにがんばりたいなと思いました。(5年生)

僕が一番心に残っていることは、6つの指示で絵をかくことです。理由は「6つの指示だけでこんなに違うのなんだなあ」とも思ったし、点を打つ場所まで上だけを打つ人もいたし、絵のまわりを点々している人もいました。僕が初めて知ったことは、IメッセージとYOUメッセージです。それにIメッセージは多数決ではなくて、その意見AとBをくっつけてCにするという意味で、YOUメッセージはIメッセージの反対で多数決で決めるということを知りました。僕は4年生のころジェンダー平等も習ったので「ちがうなあ」という意見でも、責めたり「変だよ!」と言わないで「僕は〇〇なので〇〇がいいよ」と優しくしようと思いました。(5年生)

男女共同参画学びの広場を学習して、私は、当たり前前かがいではないことに気づかされました。私は、人前で意見を言うことや、話し合いがとても苦手です。なぜなら、「この意見で大じょうぶなのだろうか?」「まちがっていたらどうしよう」と思ってしまうからです。でも、この学習を通して、「ちがいはまちがいはないのだ」と分かりました。これから、話し合いのときに、つい感情的にならず、YOUメッセージにならないよう、気をつけながら、Iメッセージをするということを生かしていきたいです。そして、人とはちがう、人それぞれちがう考え方があって、自分を否定せずに、ほめてあげる、あきらめないということを生かして生活に生かしていきたいです。性別や国、年れいなどで差別は絶対にしてはいけないと改めて思いました。(6年生)



私は、今日の学習をして、ちがいはまちがいでないということが分かりました。今まで、話し合いのとき、AかBを多数決で決めていたけど、この学習をして、 $A+B=C$ というようによく考えて、決めようと思いました。そして、みんながみんな話さないということも分かりました。だから私は、困っている人がいたら、ジェスチャーや道具を使って、助け合おうと思いました。もし、困っている人がいたら、近くにある物を使って、教えてあげようと思います。私は、この学習をして、助け合う波野小学校にしていきたいと思いました。(6年生)

ぼくは、ちがいはまちがいでないという言葉が心に残りました。発表するときに他の人とちがったらという不安があったとしても言えない時があります。けれど今日、習ったことを生かして、1つ1つの意見が大切だと思い、発表を怖がらずに、言いたいと思いました。YOUメッセージは、AかBを決めることで、Iメッセージは、 $A+B=C$ という、2つの意見を合わせたものだと分かりました。話し合いなどで、よく多数決をしていることがあります。これからは、多数決ではなく、1人1人の意見を聞いて、まとめて決めたいです。これから、1人1人の意見、考えはとても大切だということを忘れないでいきたいです。(6年生)

IメッセージとYOUメッセージという言葉が心に残っています。初めて聞いたので、最初はよく分からなかったけど、聞いていくうちに大事な言葉だと分かりました。それは、三角形の図で説明するのを聞いているときでした。先が主張でYOUメッセージ、中がIメッセージと考えたら分かりました。あと、グループ分けの活動も心に残っています。身ぶり、手ぶりで言いたいことを伝えるのは、本当に難しかったです。けれど、みんなと協力して、することができました。これからは、YOUメッセージを使わず、Iメッセージで話し合いをしたいです。あと、差別をせず、どんな人も仲良く、平等になってほしいと思いました。(6年生)



2 教職員を対象としたセミナー ～教職員の感想～

ワークショップの目的と意義を共有しました。

子どもたちのワークショップ、他の職員にも見てほしかったです。子どもたちがいきいきしている姿や自分の気持ちを素直に話せる様子からお話していただいたことがよく子どもたちに届いていたからではないかなと思います。教職員セミナーもワークショップを交えて受講したいなと感じました。より深い学びになりそうな気がします。今日はありがとうございました。

当たり前のように思っている忘れがちなことを本日受講したことにより改めて確認することができた。日々の生活の中でつい忘れがちなことをこういった機会に出させていただけてありがたかった。

「言葉を大切に」普段から心掛けているつもりではあるが、果たしてできているかどうか振り返るよい機会です。何年動いても、やはり立ち止まって自己を見つめ自問し続けていきたいと思えます。学校生活全般において人権が尊重される一当然の事と肝に命じているつもりです。

児童の活動を見ていて、自分たちは本当に児童の立場に立って発言をしているかを改めて考える機会になりました。「初めてのこ」というのは誰でも心配や不安があることですが、児童はそれを毎日繰り返し行っていることを思うと、当たり前のように過ごす中でも、ずいぶん頑張っているんだと気付かされました。子どもを見る視点が広がった気がします。ありがとうございました。



3 保護者・地域の方を対象としたワークショップ ～保護者・地域の方々の感想～

子どもたちが体験したワークショップと同じ内容で実施しました。

知らないから学ぶ、できないから助けてもらうこの2つが心に残る言葉。ちがいはまちがいでない。宝であるちがいをこそ。まず自分の意見を持ち、人の意見を聞く。何回ワークショップに参加させてもらっても気付かされることが多いです。いい勉強をさせてもらいました。ありがとうございました。

「男女共同参画」という取組が具体的にわかりました。子育て、子どもに対する声掛けや気持ちの持ち方についても気付かされることが多かったです。これからも生かしていきたいと思えます。ありがとうございました。

ワークショップの経験、初めてでしたが、とても興味深いでした。「まちがいを宝物」「Iメッセージ」この意味心に残りました。

初めて左手で自分の名前を書き、むずかしかったです。良い経験でした。

楽しい時間を過ごせました。いろいろ思い当たることがありました。ありがとうございました。

まずは子どもへの声のかけ方を変えていきたいと思えました。当たり前だと思っていたことが他の人にとっては違うということを知りました。ぜひ機会があれば本を借りに行きたいと思えます。地域や保護者の話し合いの場では、ぜひ今回の事を意識したいです。ありがとうございました。

討論の大事さ(対話の重要性)昔のコマーシャルじゃないけど、違いのわかる大人になりたいと思えました。

ちがいを認める伝えることの大切さはYOUメッセージ、Iメッセージ日常生活でIメッセージを伝えられるように、もっとたくさんの人に今日の学びをどけてほしいです。

今までに経験できなかった学びの場だったので、おくれればながらこの事を学べたことで少しでも地域に届けたいと思いました。



参観した方々

Iメッセージ、YOUメッセージについては研修を受けたことがある。意識して実践するように心掛けており、結果、人間関係が円滑に築けるようになってきた。Iメッセージ、YOUメッセージを小学校段階で知り、子どもたちが実践することにより相手を尊重する姿勢が自然と身に付くのではと思う。今回のワークショップで終わりではなく継続して取り組んでいけるよう町教委として支援していきたいと思う。

地域の方々等への事業取組の周知

- 家庭教育学級の一環として位置付け、保護者向けの案内をPTA全戸数に配布した。
- 12月発行の「学校だより」に掲載した。(発行部数:約130部)波野小学校全PTA戸数、諸関係機関に配布した。
- 学校ブログにて会の様子について、写真を添えて紹介した。



保護者案内文書



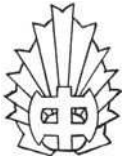
学校だより12月号



学校ブログ

事業を終えて～今後の取組など～

今回、児童・教職員・保護者・地域がそれぞれに同様のプログラムでワークショップを通して学べたことは、貴重な時間だった。あらためて「みんな違ってみんないい」という気づきから始まり、違いを排除するのではなく、違いから新しい価値観をつくり出すことが大事だということを知ることができた。児童だけが学んでも、私たち周りの大人が変わらなければならない。教職員や地域からも「Iメッセージ」を大人が使うことで、子どもたちとのコミュニケーションを深めていきたいなどの多くの学びを得ることができた。これからも、学校・家庭・地域が一体となって、一人ひとりの人権が大切にされる場所で、人権感覚が豊かな子どもたちを育てていきたい。



奄美市立朝日中学校

所在地：奄美市名瀬朝日町29-1

●学級数：9学級

電話番号：0997-52-1195

●生徒数：304人



特色ある活動

- ・自主的活動を通じた地域の一員としての自覚の高揚と具体的実践（クリーン登校・市民清掃・地域生徒会）
- ・福祉体験活動を通じた思いやりの醸成（福祉施設訪問体験学習・保育所ふれあい体験）
- ・伝統文化の継承活動（体育大会での八月踊り・島唄や島口の継承）
- ・ふるさと教育の推進（学校支援ボランティアの活用）

事業実施概要

10月18日（月）

8:30~10:20	1年生徒ワークショップ	104人
10:30~12:20	2年生徒ワークショップ	91人
13:25~15:25	3年生徒ワークショップ	109人
15:40~16:30	教職員セミナー	20人
19:00~19:50	保護者・地域ワークショップ	23人

事業取組のきっかけ

1 これまでの学校の取組

(1) 本校の人権同和教育の目標

人権・同和教育について正しい認識と理解を深めるとともに、人権同和教育に関する研修の充実を図り、基本的人権を尊重する教育を推進する。

(2) 本校の生徒の実態

- ・素直で明るく、学校活動にも部活動にも一生懸命に励む生徒が多い。
- ・他学年との交流（あまみっすこやかプログラム）も多く、仲良く過ごしている。
- ・全体的に勉強は苦手であるが、授業には意欲的に取り組むことができる。
- ・SNS・ゲーム依存により、生活習慣を確立できない生徒もいる。

(3) 人権同和教育の取組

朝日中いじめ0スローガン『和』の決定

- ・人権学習①(人権教育読本「ひらく」を活用して、奄美の歴史から人権を考える)
- ・人権標語・人権作文・人権ポスターの募集
- ・人権学習②(全国中学生人権作文コンテスト作品から、いじめについて考える)
- ・拉致問題をテーマにした全校での人権学習
- ・生徒会による奄美日本復帰記念月間の取組

2 事業応募への思い

本校の生徒は素直で明るく活動することができるが、自己肯定感が低く、自分の気持ちを言葉や行動で表現することが苦手である。また、男女混合名簿の作成や「さまざまな性について考えよう」をテーマに道徳の授業を積極的に展開しているが、生徒・職員・保護者ともに男女共同参画について学びを深めたいと考えている。

そこで、本ワークショップを通して、人権意識を高め、他者への気持ちのよりよい伝え方について学び、自己肯定感を高め、温かい人間関係を築いてほしいと思い、応募した。

実際に取り組んで

1 生徒を対象としたワークショップ ～子どもたちの感想～

私は今までちがっていたらどうしようと不安があり発表するのが怖かったけれど、ちがいは間違ではなく、一人一人ちがいがいるからこそ美しいということを知りました。また、絵を描く活動では、みんな同じ言葉を聞いていたのに描いている絵がちがって面白いなと思いました。全て同じという人はいないけれど、全て違うという人もいないので、これからは自分の個性、みんなの個性を出していきたいです。また、発表をたくさんして、もしちがっていても「何で違うの？」でなくて「もっとこう思うかな」という風に捉えていきたいです。(1年)

「男だから」「女だから」という事はよくあると思うけど、人間として考えると、男女という性別は関係ないなと思いました。今日の男女共同参画で恵さんが言っていた「なぜ、少数なら言えるけど多数になったら発表できなくなるのか」ということで、まちがっていたらどうしよう等と不安になってしまうけど、一人一人違う個性を持っていると言われて、私は少し自信がきました。友達に発表に「それはちがうでしょ」とか言わず、その人はその人なりの考え方や捉え方として友達の考えに興味を持ちたいと思いました。男・女・子ども・高齢者・不自由な方とか関係なく、人間として、これからのみんなに接していこうと思いました。男女共同参画でたくさんでたくさんの事を学ぶことができ良かったです。(1年)

私は発表することが苦手です。みんなと違ってたらどうしようと、失敗して笑われたらどうしようと思っていたからです。だから、今日の講話のとき、最初に発表している人や自分から進んで発表している人を見て、すごいなと思いました。でも今日の講話で恵さんが「ちがいはまちがいがいいじゃないです」と言っていて、一人一人がちがっていてもいいんだ、ちがうことは恥ずかしいことじゃないのだと思えるようになりました。いろんな差別や偏見をなくすためには、一人一人がちがって当たり前と思えるように「同調圧力」をしないようにすること等を意識すれば、簡単にできることだなと思いました。YOUMESSAGEをI MESSAGEに変えるだけでも印象がちがったり、嫌な気持ちにならなかったりしないので、日常生活から心がけていこうと思います。(2年)

今回の授業で人には人それぞれの考え方や個性があって、その考え方や個性を否定してはいけなくて知ることができた。発言しやすい環境を作ることが大切だと聞いて、普段グループ活動で話し合うときに友達と違う意見や考え方だったらどうしようと不安になることがあり、しっかり自分の意見を発言することができていませんでした。でも今日の話を聞いて、もっと積極的に話し合いに参加して、自分の意見がしっかり言えるようになりたいと思うことができました。そして、人は意見を言うときに後ろの理由などを述べることを忘れてしまって、人を知らない間に傷つけてしまっていることが分かりました。なので、これからは発言に気を付けて生活していきたいです。(2年)

僕は「男女共同参画」って、どんなことを学ぶのだろうと最初は思っていました。でも、ごく日常的なことでも共感できることが多くありました。例えば、周りとの違いを恐れていることや自己肯定感が足りないことが挙げられます。そして、特に僕の印象に残っていることは「同感と共感」です。同じように感じる「同感」でなく、自分の意見は違っても僕もそう思うというように相手の意見に賛同する「共感」が大切であること。これによって、自分の意見も確実に持ちつつ、多様性を築いていくことができると思います。また、これらの他にもたくさんのことをこの講話で学びました。これからの生活で、活用できる「I MESSAGE」や「自分に自信を持つ」ことなどは、意識して取り組んでいきたいと思いました。(3年)

今日の学びの広場の講話を聞いて、今までの自分を考えてみました。幼いことはよく女子は勉強ができて当たり前だ、男子はスポーツができて当たり前だ等と思っていました。その頃の考え方は幼い考え方だと思えます。一人の考え方、捉え方に感じ方には様々な違いがあります。それが「個性」であり、これからの社会で生きていくものだと思います。違ってから恥ずかしいのではなく、違ってから楽しい、違ってから仲間で僕の周りにはいると思います。また、相手を責めるようなYOUMESSAGEではなく、自分と向き合いながら相手と意見を話し合えるI MESSAGEを使っていこうと思います。一人一人の個性と能力を十分に発揮できる社会、環境を目指したいです。(3年)



2 教職員を対象としたセミナー ～教職員の感想～

ワークショップの目的と意義を共有しました。

今日の研修を通して、さらに知識や理解を深めることができました。何より子どもたちがワークショップをしているときに、表情が変わっていく様子を感じることができました。私たちも日ごろから心がけていることではありますが、これを良い機会ととらえ、様々なことで再度見直しながらやるべきことができたと思います。本日はありがとうございました。

生徒ワークショップの開設・指導の仕方について学ぶことができて良かった。男女共同参画について子どもたちと一緒に学ぶことは大切だとわかっているが、実際に何をすればよいかを理解していなかった。生徒のワークショップに参加して、特に「ちがいを認める」について深く考えた。偶々ここで活動する子どもたちにネガティブなイメージを持ってしまおう等、反省する点も多いが、これから学んでいくべき課題として教育に励んでいきたい。

生徒ワークショップでは、子どもたちがちがうことを認め、お互いに気持ちを伝えあっていた。人権教育については、全ての教育活動について全職員で積み重ねていくことが大切だと感じたので、共通理解・共通実践に努めたい。未来を切り開いていく子どもたちのために、心に寄り添って指導しく。

男女共同参画の学びを深めるうえでなくてはならないものが、同感でなく共感が大切であると感じました。知識だけでなく、実践にいかしていきたい。

以前聴いたことのある話でしたが、また数年経って聴くと、感じ方や考え方も変わっていました。子どもたちのワークショップに取り組み姿勢や考えていることがそれぞれ異なっていて面白かったです。日々接する子どものことを今後も一人一人理解しながら、言葉かけから工夫していきたいと思いました。

生徒への接し方を改めて考えさせられました。もっと任せてみないと認めない。Iメッセージを心がけて意識しながら取り組みたいと思います。日々忙しく疲れることもありますが、子どもに近い存在として、自信を持って明るく接していきたいと思います。ちょっとした言葉が励みになると感じました。

生徒のワークショップでなかなか人前で発言できないのは我々大人が今まで作り上げてきたものだと思いたくはない。いろいろな差別が世の中にはあるが、それがなくなるように今後少しでも尽力できたらと思います。

「指示の最適化」という言葉が、一番心に刺さりました。相手のことを考え、お互いにとってより良い方向へ導くために心を砕く時間を惜しんではならないと改めて思いました。そしてやはり、自分自身が素直であることも必要かと。でも、いろいろな枠組みの中で「自分はこうだ」とか「自分はこう思う」と発することの難しさに加え、それがどう受け取られるか分からない怖さがあります。性別・年齢に関係なく、一人の人間としてきちんと向き合う姿勢をこれからも忘れずにいきたいです。でも、伝える・聴く・受け止めるという努力を怠らない人でありたいです。

「ちがいにまちがいを」の話をされていたのですが、まさにその通りだなと思いました。中学生になると発表も少なくなり、学級の雰囲気もあるかもしれないと思いますが、そのような場を教員が作っているかもしれないなと思いました。自分が考えていた男女共同参画というのは、とても狭い範囲で考えていたなと思います。中学生にしっかりと伝えていくように、これからも意識していきたいです。

まだまだ自分の中で勉強不足の部分が多々あります。研修を通して、男女共同参画に対する考え方を深めることができました。しかし、これで満たしているわけではないので、これからはもっと自主的に学びの姿勢に努めたいと思います。



3 保護者・地域の方々を対象としたワークショップ ～保護者・地域の方々の感想～

子どもたちが体験したワークショップと同じ内容で実施しました。

子どもたちの指示待ち（指示がないと動かない）は、日々の私たち親が命令し生活してきたことによるものだと気づかされました。反省です！「Iメッセージ」を取り入れながら声かけしていきたいです。

今日から人が変わったように、子どもたちと接しみよう。子どもたちも毎日頑張っている。

お話を聴いていて、ドキッとすることがありました。わかっていても「YOUメッセージ」をしている時があるなあと再確認することができました。私も子どもたちとまだ成長していけるように、「Iメッセージ」をもっと発信していきたいです。

職業上、ジェンダーギャップについて考えたり、女性の支援をしたりしていますが、今回のワークショップを受けて、子どもたちが体験を通してとても実感して考えられる企画だったので、とても良かったと感じました。これからの社会、ジェンダーの壁を越えた社会になれるよう、大人の私たちも頑張らないといけないと思います！

男女参画という言葉は聞いたことがありましたが、内容などはよくわかっていませんでした。恵さんの講演がすごくわかりやすく、違いは間違いいではない。Iメッセージ、大人の声かけを見直していこうと思います。なるほど！という時間がたくさんあり、とても楽しく面白い時間でした。

講師の先生の話方・内容にとっても引きつけられました。子どもたちの授業の内容も分かり、とても良かったです。「ちがいは宝なのだ、子どもたちに伝えていきたい」と思いました。ありがとうございました。

思っていた内容と違って、とても身近に感じる内容でした。家族であっても、背景や後者の思い・考え方・意味を伝えていくことを心がけようと思いました。

恵さんのお話が「うん！そうだな！！」と納得するばかりでした。ありがとうございました。子どもたちの未来に、個性豊かな感性が広がる素敵な社会になっていることを望んでいます。

男女共同参画、学生の頃にさざっと学んだり、自分の社会では「結局昭和な感じだね」と社会の変化を感じることもなく、自分自身も「女性に損だ」と思って過ごしてきました。けど、今日の講話で何も難しく考えず、自分の手の届く範囲から自分が意識して変化を少しずつ起こしていけばよいのだと身近に感じました！！

日常生活の中で、ちがいを恐れることは多くあります。ちがいは間違いや劣っていることではないことはわかっていますが、やはりちがいが邪魔をします。自分自身がそのことをしっかりと受け止め、相手に対してちがいを認めることをやっていこうと思います。YOUメッセージではなく、Iメッセージがとても大切だと思います。自分がこう思うからこうでないかと言葉にだせるようにしていきたいです。

自分の意見や考えていること、思っていることをなかなか伝えられず、人と違ったらどうしよう、相手に嫌な思いをさせたらどうしようと思えなかったのですが、これからは子どもたちにも人と違っていても恥ずかしくない、自分の思いや意見を言えるような環境づくりをしていこうと思いました。



参観した方々

大事なことだけど、日常生活の中で優先順位の低い人権、子どもの権利について学べる機会があるのはありがたいと思います。子どもだけでなく、先生、保護者も含めて意識を共有していくことが大事だと思います。

大人も子どもも不寛容な社会で生きていると思います。「ちがいがあっていい」「できない」はダメなことではないをみんなでも共有したいと本当に思っています。学びの場をありがとうございました。

地域の方々等への事業取組の周知

- ・「私たちの人権コーナー」へ感想の掲示
- ・学級通信にて、学習内容の発信と感想の紹介
- ・学校便りにて、取組の様子の発信



私たちの人権コーナー

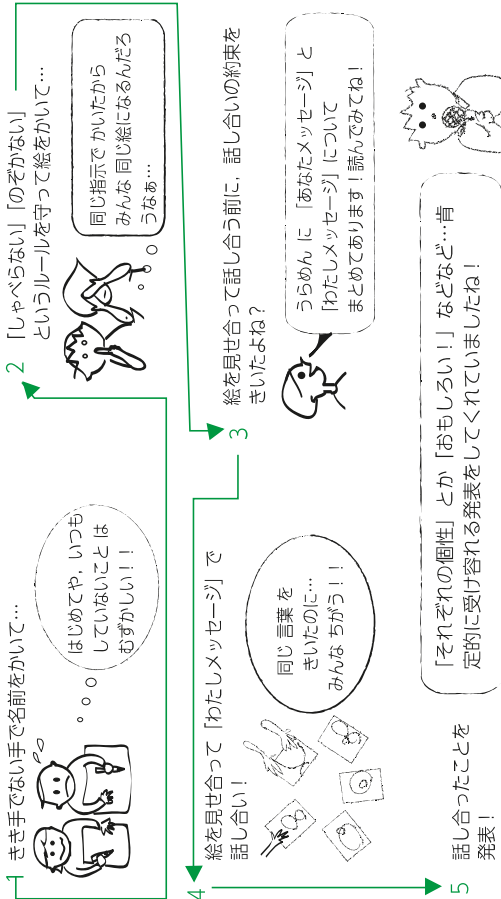
事業を終えて～今後の取組など～

生徒ワークショップを終えて、自己肯定感が高まり、人前で発表することに自信を持った生徒が多かった。授業中の学び合い活動や総合的な学習の劇の練習で積極的に輝くことができています。誰もが個性をいかして輝ける学校にするために、今回の学習を通して学んだことをいかして、継続的に学ぶ機会をつくり、生徒と保護者と職員の人権意識を高めていきたい。

子どもたちの男女共同参画 学びの広場推進事業

子どもたちのだんじょきょうどうせんかく
まなびのひろばすいしんじぎょう

今日、どんなことを学んだか、ふりかえってみよう！



ここで、ちょっと、いつもの私たちのことを考えてみよう！

私たちは時々、自分やお友達を性別や年齢によって区別して考えて、「男の子だから/女の子だから」、「1年生なのに/6年生なのに」と、行動を制限したり、からかったりしてしまうことがあります。

でも、今日、私たちは、同じ指示で絵をかいても、同じ絵にはならないし、性別によって同じ絵をかくとか、年齢によって同じ絵をかくのではなく、一人ひとりが、それぞれの絵をかくということを知りました。

そして、それは一人ひとりの感じ方、考え方、捉え方、やり方には違いがあるからで、それが、一人ひとりの「個性なんだ！」ということに、みんなで気づくことができました！

いつもなら、違うことはいけないこと、はずかしいことかと思ってしまうが、違いますが、違いうからこそ、いろんなアイデアを交換できる素敵な仲間なんだと知った私たち。

性別にかかわらず、一人ひとりには、いろんな違いがあります。その一人ひとりの個性と能力を十分に発揮できる社会が男女共同参画社会です。一人ひとりの違いを豊かに重ねながら、自分を大切に、お友達を大切に、毎日を送る。みんなで男女共同参画社会をつくっていきましょうね！

令和3年度
鹿児島県
男女共同参画センター



“YOU (あなた) メッセージ” から “I (わたし) メッセージ”へ

YOU メッセージ



こんな風に伝えられるのは、何か責められているようで、嫌ですね…。だから私たちは、“違う”意見や考え、やり方があっても、その意見や考えを言ったり、やり方を提案してみたりすることが、なかなか、できません。

今日描いた絵を見て、学んだように、私たちは一人ひとりに、感じ方や考え方や、やり方があって、それは人それぞれ違います。

年が同じだから、性別が同じだから、クラスが同じだから、同じ地域に住んでいるから…。年や性別等が同じだからといっても、友達だからといっても、同じように感じたり、考えたりするわけではないんだね…。

I メッセージ

私は、△△という経験があって、○○さんとは違って、□□って思うんだけどどうですか？

ホントだ！自分の気持ちがよく伝えられているな～。

私は、このシジを□□だと考えて、こう書いたんだけど、○○さんの書き方と、だいぶ違うなあと、感じたのだけど、どんな風に考えてそうになったのか、知りたいです！

自分が、本当に言いたいこと、相手に伝えたいことは何なのか…自分の気持ちには向き合おう！

相手に、ありのままの自分の気持ちを “I (私)” を主語にして伝えてみよう！この “I メッセージ” は、とくに、違いを伝える時、言いにくいことをいう時に、相手の反感を呼び起こすことなく、自分の本当の気持ちを表現できることが多い話し方なので、今日の話し合いでも使ってみよう。

違う思いや考えを重ね合う話し合いができた私たちは、自分たちで、いろんな発見をできたよね？

これからも、みんなが “I メッセージ” で、“違い” を豊かに重ねながら、ステキな毎日を送ってくれることを楽しみにしています♪

おわりに

2022年2月の最終週は、立春を迎えても寒い日が続いていますが、3月を迎えると暖かい日が続くとの天気予報を聴き…この寒さもあと少し、と自分を励ましています。3月には卒業式がありますね…。その日が、子どもたちを暖かく送り出す陽ざしに満ちていることを心から祈っています。

毎年、この時期に「鹿児島県子どもたちの男女共同参画学びの広場推進事業」実施校から届く報告を読ませて頂きます。昨年に引き続き、今年度もコロナ下での実施となりました。実施に際して、様々な対策を講じてくださった参加校の関係者の皆様に心から感謝しています。本当にありがとうございました。

本事業は今年で9年目を迎えました。これまでの参加人数12,395人という数字を見ながら、約12,000人と表記しない鹿児島県男女共同参画センターにグッときています！

担当者の川村さん、今年度異動してこられた郡山課長と共に学校に出向いて実施する本事業。お二人が学校で出会う子どもたちや先生、地域の方々に向ける優しい眼差しを思い浮かべながら、来年度参加してくださる一人ひとりとの出会いも大切に重ねていきたい！という思いを新たにしています。

そして、2022（令和4）年度は、できれば、新型コロナウイルス感染症の影響を受けずに全ての参加校で実施できるといいなあ～と…思ったりもしています。

子どもたちの感想文にはワークショップを受けて楽しかったことや、これまでの自分自身の在り方を振り返ってくれた言葉が綴られていました。そして、先生から頂いた感想文には、「リフレイン & リフレイム」について関心を寄せてくださるものが多くありました。

これは、子どもたちが発表してくれた場面で、子どもたちの言葉を繰り返した上で、私が枠組みを変えて男女共同参画や多様性の視座から感受したことを話す方法です。子どもたちは、自分の発表をしっかりと聴いてくれたことを喜び、自分の発表が新たな学び～男女共同参画や多様性～をみんなと共有することに貢献できたことに誇りを持ってくれるようです。

私は、発表を終えた後の子どもたちの誇らしい顔が大好きです。一方で、発表できない自分を責めている子どもたちがいることにも配慮を忘れないように気をつけています。発表できない、発表したくないのは、個人の問題ではなく、発表しづらい社会を維持し続けてきた私たち大人の責任であり、この社会の在り方を変えていくことが大切だと思っているからです。

ワークショップは「一人ひとりの来歴を大切に学ぶ(たとえ0歳の赤ちゃんであっても)」とされています。性別に関わりなく、一人ひとりを大切にできる社会づくりに向けて実施している本事業で、子どもたちが「大切にされている」ことを感受し、綴ってくれるそれぞれの「楽しさ」が私たち学びの広場クルーの原動力です！

私は、子どもたちの感想文を読みながら、学びを吸収し、それを自分の感覚で言語化してくれているフレッシュな言葉にニコニコ、ワクワクしてしまいます。

日常の人との関わりの場面で、「一人ひとりの来歴を大切にすること」を片時も忘れることなく在れたなら、自分にはない感覚の他者から繰り出される言動に生まれる、ニコニコ、ワクワク、ドギマギ、イライラといった自分自身の受け止め方にも、フレッシュに出会うことができるのかもしれない。

他者との関わりがなければ生まれてこないこれらの感情の豊かさに、コロナ下で人との関わりの機会が少なくなった私たちは気づきはじめています。

私たちは、つい、自分の価値観で瞬時に判断を下してしまいそうになります。そんな時、一旦、判断を保留し～その方にはその方のこれまでがあって、この言動に結実している～と想像してみる時間をもてたなら…。頭では分かっている、なかなかです。でも私は、自分と他者を大切にする事の豊かさを感受して下さった子どもたちをはじめ参加して下さった皆さんの感想文を読みながら、日々是練習！していくことを今日ここに誓います！

考えてみれば、子どものみならず、私たち大人も、新しい1日と出会い続けるフレッシュな毎日を過ごしています。これまでの価値意識にとらわれることなく、自分に起こる様々に向き合うことができたなら、そこに新たな価値が生まれてくるのかもしれない。

男女共同参画は、私たちに新たな価値を提案し続けています。男女共同参画社会基本法制定から23年目の春です。多くの方に、フレッシュな気持ちで男女共同参画の学びと出会っていただきたい！という思いでいっぱいです。

来年度も本事業で、多くの皆さんと学びを共有できることを楽しみにしています。

2022年3月 高崎恵



鹿児島県男女共同参画センター

〒892-0816 鹿児島市山下町 14-50
TEL 099-221-6603/FAX 099-221-6640
E-mail p-harmony@pref.kagoshima.lg.jp